



日本特殊塗料 サプライチェーンCSRガイドライン

2021年9月
日本特殊塗料株式会社

1 はじめに

近年、環境問題や人権・労働問題などの社会的課題が深刻化し、情報技術の進化等を背景に産業構造が急速な変化を遂げるなど、企業を取り巻く環境は大きな変革期にあります。

こうした課題・変化に対し、企業に求められる社会的責任はこれまで以上に多様化・高度化しており、その責任を積極的に果たす姿勢が求められています。

当社はこれまで、「卓越した技術と製品により社会に貢献する。」「環境と共生し、国際標準に準拠しつつ、永遠の発展を目指す。」といった経営の基本理念を掲げ、「環境」や「社会」、あるいは「CSR（企業の社会的責任）」を重視した経営に取り組んでまいりました。

2019年には、こうした取り組みを「CSRガイドライン」として取りまとめ、社内外での啓蒙活動を行ってまいりましたが、さまざまな社会的課題に対する企業の取り組みに期待が高まる中、あらためて当社自身も『企業活動を通じて、地球・社会の持続可能な発展に貢献したい』という思いを大変強くしております。

同時に、これは当社のみで達成できるものではなく、重要なビジネスパートナーであるお取引先の皆様にも、当社の考えを理解・共有していただき、当社の取り組みにご賛同・ご協力をいただきたいとの思いから、ここに改めて「日本特殊塗料サプライチェーンCSRガイドライン」を改訂・発行させていただきました。

お取引先の皆様におかれましては、本ガイドラインを活用していただき、共に地球・社会の持続可能な発展に貢献し、社会に求められる企業として、企業価値向上を遂げてまいりたいと考えております。

皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

2021年9月

日本特殊塗料株式会社
取締役社長 遠田比呂志

2 サプライチェーンCSRガイドライン

日本特殊塗料は、企業活動を通じて、地球・社会の持続可能な発展に貢献していきたいと考えております。そのためには、お取引先の皆様にも、当社の考え方を理解していただくとともに、当社の取組みにご協力をお願いしたいと考えております。

このガイドラインは、当社の考え方、当社がお取引先の皆様に期待する基本事項を明示したものです。お取引先の皆様におかれましては、本ガイドラインに記載の各事項を遵守していただき、さらに皆様ご自身のお取引先に対し、本ガイドラインを展開していただくことでサプライチェーン全体として、持続可能な発展に向けた取り組みを推進していきたいと、ご理解とご協力をお願いするものです。

(1) 製品・サービス

①基本的な考え方

- ・付加価値の高い製品・サービスの提供により顧客のニーズにこたえ、企業活動を通じて地球・社会の持続可能な発展に貢献する。

②安全

- ・各国・地域ごとに定められた安全法規等を満たした製品・サービスを生産・提供する。

③品質

- ・品質を確保する全社的な仕組みを構築し、継続的に運用・改善する。
- ・技術開発・生産技術の革新に努め、継続的な原価低減活動により、市場競争力のある製品・サービスを提供する。
- ・提供する製品・サービスの納期を守り、安定して供給できる体制を構築・運用する。

④適切な情報提供

- ・製品・サービスに関する適切な情報を顧客に提供する。

(2) コンプライアンス

①法令遵守

- ・各国・地域の法令を遵守し、社会倫理に適合した良識ある活動を行う。
- ・コンプライアンス徹底のための、方針や体制、行動指針、通報制度、教育などの仕組みを整備・実施する。

②機密情報の管理・保護

- ・自社の機密情報を厳重に管理し、適正に利用する。
- ・他社の機密情報は正当な方法で入手するとともに、利用範囲その他の条件に従って、厳重に管理し、適正に利用する。
- ・従業員や取引先などに関する個人情報、正当な方法で入手するとともに、入手した情報は厳重に管理し、適正な範囲で利用する。

③知的財産の保護

- ・自社が保有あるいは自社に帰属する知的財産権を保護するとともに、第三者の知的財産の不正入手・使用、権利侵害を行わない。

④競争法の遵守

- ・私的独占、不当な取引制限（カルテル、入札談合等）、不公正な取引方法、優越的地位の濫用など、各国の競争法に違反する行為を行わない。

⑤輸出取引管理

- ・各国・地域の法令等で規制される技術・物品等の輸出に関して、適切な輸出手続き・管理を行う。

⑥腐敗防止

- ・政治献金・寄付等は、各国・地域の法令に従って実施し、政治・行政との透明かつ公正な関係づくりに努める。
- ・不当な利益や不当な優遇措置の取得・維持を目的に、顧客、取引先、その他のビジネスパートナーに対して、接待・贈答・金銭の授受・供与は行わない。

(3) 人権・労働

①差別撤廃

- ・あらゆる雇用の場面（応募、採用、昇進、報酬、教育を受ける権利、業務付与、賃金、福利厚生、懲罰、解雇、退職等）において、人種・民族や出身国籍・宗教・性別等を理由とした差別を行わない。

②人権尊重

- ・人種・民族や出身国籍・宗教・性別等を理由としたあらゆる形態のハラスメントを許さない。

③児童労働の禁止

- ・就労可能年齢は、15歳、義務教育終了年齢、各国該当法令による就労最低年齢のうち、いずれか最も高い年齢とし、児童の労働は認めない。
- ・18歳未満の従業員を危険有害業務、深夜労働に従事させない。

④強制労働の禁止

- ・全ての労働は自発的であること、及び従業員が自由に離職できることを確実に保証し、強制労働は行わない。
- ・雇用の条件として、パスポート、公的な身分証明書または労働許可証の引渡しを従業員に要求しない。

⑤賃金

- ・最低賃金、超過勤務、賃金控除、出来高賃金、その他給付等に関する各国・地域の法令を遵守する。

⑥労働時間

- ・従業員の労働時間（超過勤務を含む）の決定、及び休日・年次有給休暇の付与その他について、各国・地域の法令を遵守する。

⑦従業員との対話

- ・従業員の代表、もしくは従業員と、誠実に協議・対話する。
- ・従業員が自由に結社する権利または結社しない権利を、各国・地域の法令に基づいて認める。

⑧安全・健康な労働環境

- ・職務上の安全・健康の確保を最優先に、事故や災害の未然防止に努め、誰もが安心して働ける快適な職場づくりを推進する。
- ・職場での健康増進活動や疾病予防のための指導などを通じて、従業員の健康づくりを支援する。

(4) 環境保全

①環境マネジメント

- ・幅広い環境活動を推進するため、各国・地域の法令を遵守するとともに、全社的な管理の仕組みを構築し、継続的に運用・改善する。

②温室効果ガスの排出削減

- ・地球温暖化防止に貢献するため、事業活動での温室効果ガスの排出を管理し、削減活動を推進するとともに、エネルギーの有効活用に取り組む。

③大気・水・土壌等の環境汚染防止

- ・大気、水、土壌等の汚染防止に関する各国・地域の法令を遵守するとともに、継続的な監視と汚染物質の削減を行い、環境汚染を防止する。

④省資源・廃棄物削減

- ・廃棄物の適正処理・リサイクル等に関する各国・地域の法令を遵守するとともに、資源の有効活用を通じて、廃棄物の最終処分量の削減に取り組む。

⑤化学物質管理

- ・環境汚染の可能性がある化学物質等を特定し、安全な管理を行う。
- ・各国・地域の法令で禁止された化学物質を、当該国・地域において製品に使用しない。
- ・各国・地域の法令で指定された化学物質に関しては、法令に基づき排出量の把握・行政への報告を行う。

⑥生物多様性の保全

- ・原材料調達を含む事業活動全般において、生物多様性の保全に配慮する。

(5) 企業活動を通じた社会への貢献

①責任ある資源・原材料調達

- ・人権・環境等の社会問題を引き起こす原因となりうる原材料[※]の使用による地域社会への影響を考慮した調達活動を行うこととし、懸念のある場合には、使用回避に向けた施策を行う。

※コンゴ民主共和国およびその周辺諸国において、同地域の武装勢力の活動資金元として産出される紛争鉱物等

②地域への貢献

- ・それぞれの地域のニーズに即した社会貢献活動を積極的・継続的に行い、地域社会の持続可能な発展に貢献する。

③ステークホルダーへの情報の開示

- ・財務状況・業績、事業活動の内容などの情報を、ステークホルダーに対して適時・適切に開示するとともに、オープンで公正なコミュニケーションを通じて、ステークホルダーとの相互理解、信頼関係の維持、発展に努める。

(6) リスクマネジメント

- ・災害や事故等の緊急事態が発生した場合においても事業が継続できるよう、あらかじめ事業継続計画（BCP）を策定・運用する。
- ・情報セキュリティ体制を構築し、会社の機密情報・個人情報等の情報資産の適正な管理方法、コンピューターネットワーク上の脅威に対する防御策を策定・運用する。

3 お取引先の皆様へ

(1) サプライチェーンCSRガイドラインの遵守体制構築

- ・本ガイドラインの遵守にあたっては、必要な社内体制を構築し、継続的な運用・改善をお願いいたします。

(2) コンプライアンス違反が発生した場合

- ・お取引先の皆様が、自己診断・自己点検を行われる際は、上記各項目について、その趣旨を踏まえ、社内の実態に照らした確認をお願いいたします。また、コンプライアンス違反が発生した場合には、皆様方における原因調査と再発防止に向けた取り組みをお願いするとともに、その内容について、当社担当窓口へのご報告をお願いいたします。

2019年1月17日 制定

2021年9月1日 改訂